

～群馬県伊勢崎市での栽培事例～ エダマメ「青祭※」を栽培して

※ 農林水産省品種登録出願中（出願名称：GLYSB1023） 海外持出禁止（農林水産大臣公示有）

〈伊勢崎市の農業〉

群馬県伊勢崎市は、群馬県の南部に位置します。ほぼ平坦地で利根川とその支流の河川が複数あり、比較的温暖な気候で日照に恵まれています。エダマメを含む約 60 種類の野菜が栽培されているほか、米麦の二毛作も盛んな豊かな大地です。

今回、伊勢崎市内に住むお二人の生産者からエダマメ「青祭」を栽培しての感想をいただきましたので紹介いたします。

（編集者より）



福島 慎哉 さん

1. 青祭の栽培を始めたきっかけ

主な栽培品目は、エダマメを 5ha（うち青祭 2ha）、他にブロッコリーを作付けしています。また、エダマメの抑制栽培も行っています。

従来から栽培していたエダマメ品種は暑い時期にどうしても黄色くなりやすく、出荷してからクレームを受けたこともあり、悩んでいたところでした。そのような中、他の生産者から青祭が良いと聞いたこと、講習会で紹介されていたことをきっかけに「青祭」栽培に取り組み始めました。



▲写真1 「青祭」圃場

新たに導入した機械収穫にも向く大ききで、黄色くなりづらく、緑色も濃いところが気に入っています。また、収量もあります。

2. 青祭を栽培して

青祭の播種は 4 月下旬頃から 5 月 20 日頃までで、収穫は 7 月 10 日頃から 8 月上旬までです。収穫したエダマメは農協に出荷しています。今年（2024 年）の猛暑は特に激しく、エダマメ収量も減少傾向ですが、中でも青祭は頑張ってくれています。

3. 今後に向けて

極早生品種は草丈が低い品種が多く、機械収穫が難しいのですが、今後は極早生品種でも機械収穫に向く大きさのある品種の開発をよろしくお願いします。

また、今後はエダマメの抑制栽培にも青祭でチャレンジしてみたいと思っています。



▲写真2 「青祭」草姿



▲写真3 「青祭」選別作業

群馬県伊勢崎市

福島 慎哉 さん
長沼 芳憲 さん



株式会社 長沼農園
代表取締役社長 長沼 芳憲 さん

1. 青祭の栽培を始めたきっかけ

野菜の栽培品目は全体で13haほど、エダマメ、ニラ、ネギ、キャベツ、ゴボウ、ブロッコリーなどです。エダマメは3.5haで、そのうち青祭は0.5haほど栽培しています。また、米、麦も作付けしています。

エダマメの品種は、収量性、品質、食味、色などを見て選定しています。これまで、極早生品種として神風香（登録品種名：GLYSB1021★）、中早生品種として恋姫★を選定して使っており、後半に向く品種を探していたところ、青祭に出会いました。後半は高温で黄化が進み、品質が落ちがちですが青々として安定して作れる品種として青祭は重宝しています。

★PVP 海外持出禁止（農林水産大臣公示有）

2. 青祭を栽培して

青祭の2024年の播種は4月下旬～5月上旬、収穫期は7月下旬でした。エダマメはベルトで引き抜くタイプの機械で収穫しています。青祭は枝折れしにくく、作業性も良く、歩留まりも良いです。さらに、莢の色が良く、作りやすく、収量性が良く、見た目も良く、食味も良好でした。他品種で生育



▲写真1 枝の様子を確認する長沼さん



▲写真2 圃場収穫後のエダマメ

が悪かった圃場でも青祭は青々と調子が良かったです。

3. 今後に向けて

エダマメは短期で反収が上がる夏場の主力の作物で、今後も力を入れていきます。

茶豆風味、もしくは茶豆の品種がやはり消費者には好評だと感じています。夏場の産地が北へ移っていく中で、少しでも栽培期間を伸ばしたいと考えていますので、暑くても安定して作れる茶豆風味もしくは茶豆の品種の開発をお願いします。



▲写真3 商品パッケージとエダマメ出荷荷姿

動画で
品種紹介！

右二次元バーコードをご参照ください。
当社ホームページ内の品種紹介ページにリンクしています。
ページ内に動画がありますのでそこからご視聴ください。



エダマメ「青祭」(2022年開催オンラインセミナー動画)